

日本語版マニュアル

ブリガディールは、ギタリストを魅了するノスタルジックなアナログ・ディレイのサウンドを自在に再現するだけでなく、実際のアナログ・ディレイでは到達できないS/N比の達成、アナログ・ディレイでは再生されない高周波域もカバーしたクリアなディレイ・サウンドも自在となります。

さらに、アナログ・ディレイでは不可能なタッピング、5秒のロングディレイ、∞リピート・ホールド機能、ワイドモジュレーション、セッティングのプリセット、リアルタイムのエクスペッション機能などを搭載。

先進のデジタル技術と堅実なアナログ技術が融合した異次元のディレイ・ユニットです。



コントロール

MODE スイッチ

3種類のディレイ・モードは、3種類の異なるディレイ・ユニットのエッセンスを表しています。モードスイッチのそれぞれは、異なる数の dBucket チップを意味し、ディレイ・レンジが異なります。

- short mode : 40 ~ 400ms
- med mode : 100ms ~ 1000ms
- long mode : 500ms ~ 5sec

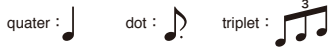
short mode は、1つの BBD IC で作られた初期のアナログ・ディレイ・ペダルをイメージしており、スラップバック、リード用ディレイ、アナログ・ディレイ独自の発振などのサウンドに最適です。med mode は、現存する最長ディレイ・タイムのアナログ・ディレイをイメージしています。long mode はアナログ・ディレイ回路では不可能な長いディレイです。

どのモードでも TIME コントロールを 3:00 以降の位置に回すと、アナログ・ディレイでクロック IC がサウンドへ与える影響を再現し、リピート音がこもった抜けの悪い音へと変化します。このサウンドの変化は BUCKET LOSS とは独立した効果です。BUCKET LOSS を高く設定していると、この DELAY セッティングによる変化がマスキングされる場合があります。

short mode で 400msec のディレイを設定すると BUCKET LOSS を低く設定しても、クリアなディレイ・サウンドは得られません。クリアな 400msec のディレイを設定する場合は、med mode 使用して行います。同様に 1sec のクリアなディレイは、med mode ではなく long mode を使用します。long mode で 5sec に設定すると、アナログ・ディレイの様な clock エフェクトが効いた高域の抜けの悪いリピート音が再生されます。

TAP スイッチ

3種類のタイムベースが選択できます。



TIME コントロール

選択されたディレイモードの範囲内でディレイタイムを設定します。プレイ中に TIME コントロールを操作すると、アナログディレイの様にリピート音のピッチが変わります。

MIX コントロール

ドライとディレイのミックスをコントロールします。最小でドライ 100%、最大でディレイ 100% に設定できます。ドライとディレイのミックスはアナログ回路内で行なわれ、ドライ音はデジタル変換される事なく、オリジナルの音質を損ないません。3:00 辺りの設定で 50 : 50 のミックスが得られます。

BUCKETLOSS コントロール

BBD 回路が引き起こす音質ロスのシミュレーションをコントロールします。最小で「0」ロス、最大で BBD 回路独自のノイズや歪みが最大になります。3:00 辺りで歪みが最大になり、それ以降はノイズが追加されます。

REPEAT コントロール

ディレイのリピート音を調整します。最小の 1 回からアナログディレイ同様の発振まで設定可能です。3:00 辺りの設定で発振しない無限リピートが得られます。

MOD コントロール

ディレイタイムに LFO モジュレーションを追加します。最小でオフ、時計回りに廻すに従ってモジュレーションの量が増えます。最小から 1/2 迄はスピードが遅いモジュレーションの深さだけが増し、1/2 を超えるとスピードが遅いモジュレーション深さが増加します。

BYPASS フットスイッチ

エフェクトのオン/オフを切り替えます。工場出荷時にはトゥルーバイパスに設定されています。LED の点灯時がエフェクト・オンの状態です。

⚠️ バイパスを『バッファード・バイパス』に切り替える場合は、BYPASS フットスイッチをホールドしながらアダプターを接続して電源を入れます。バッファード・バイパスの場合は、バイパスする際にディレイのリピート音が残ります。

TAP フットスイッチ

タッピングでディレイタイムを設定する際は、タッピングのテンポに合わせて TAP LED が点滅します。

⚠️ TAP フットスイッチをホールドするとリピート音を永続的にホールドすることができます。

入出力/信号レベル調整/ EXP ジャック

入力ジャック

モノラルの楽器レベルおよびライン・レベルの信号を入力します。入力インピーダンスは 1M Ω のハイ・インピーダンスです。本機の入出力は、エフェクトループ、ラインレベル信号にもご使用頂けます。

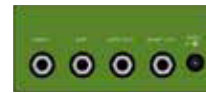
出力ジャック

モノラルのアンバランス端子が、左チャンネル、右チャンネル用にそれぞれ用意されています。出力インピーダンスは 100 Ω です。本機の入出力は、エフェクトループ、ラインレベル信号にもご使用頂けます。

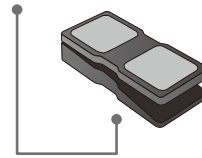
エフェクト時の信号レベルを調整する

BRIGADIER では、エフェクト ON 時の信号レベルを +/- 3dB の範囲で調整することが出来ます。BYPASS スイッチと TAP スイッチの両方を押しながら、MIX コントロールを操作してください。12:00 の位置がユニティー・ゲイン設定となり、左へ回すとマイナス、右へ回すとプラスになります。

EXP ジャック (エクスペッション・ペダルを接続する)



TRS 端子のエクスペッション・ペダルを接続し、任意のコントロールを操作することができます。



エクスペッション・ペダルを使用する場合、TAP スイッチを押しただまま電源をオンにしてください。電源投入後、最初に操作されたコントロールがエクスペッション・ペダルで操作できるコントロールとなります。また、エクスペッション・ペダルでのコントロール範囲は、最小値 ~ ツマミの設定値となります。

サンプルセッティング



Rockabilly



Vintage



Lead Enhancer



1 Second Vibrato



June Echo



Triplets

モノラル or ステレオ 入出力切替

入力ジャックに TRS ジャックを採用しており、本体内部にあるジャンパー・スイッチを切替えることで、入力を Mono / Stereo に切替えることができます。スイッチは本体の裏蓋を外した中にあります。ステレオで入力する場合には、TRS ステレオ入力ケーブル (Y 字ケーブル) を使用してください。

モノラル入力 (デフォルト) : 右2つのピンをジャンパーしてください。
ステレオ入力 : 左2つのピンをジャンパーしてください。



スペシフィックेशन

入力インピーダンス	1M Ω	出力インピーダンス	100 Ω
S/N 比	115dB	周波数特性	20Hz ~ 20kHz
A/D & D/A 性能	24bit 96kHz	DSP パフォーマンス	1596 Mega FLOPS
バイパス	トゥルー・バイパス (出荷時)、バッファードに切り替え可能	入力電圧 (パワーサプライ)	9VDC センターマイナス、250mA

この度は、DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。本製品は、DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社オールアクセスが購入後 1 年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書 (購入期日及び販売店捺印必須) を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。本書に記載された文章、図版は全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用のみを許諾しております。